

## CARATSの実現に向けた取組み(案)

### 1. ロードマップの作成

今年度、①将来の航空交通システムの目指すべき目標、②将来の運用概念及び基盤技術の変革の方向性及び③それらを実現するための具体的施策の代表例を定めた将来の航空交通システムに関する長期ビジョン(CARATS)の策定を行っているところである。来年度以降、CARATSに基づいて将来の航空交通システムを着実に実現するためには、関係者間の連携により詳細なロードマップを作成した上で、短期的な施策から順次実施するとともに、長期的な施策については計画的に調査・研究・開発を進める必要がある。

関係者間で連携し、CARATSのより詳細なロードマップを策定するため、産学官連携による「CARATS推進協議会(仮称)」を設立し、その配下に、実務者レベルのワーキンググループを設置することとする(体制図は別紙参照)。

#### 【今後の進め方のイメージ】

	2009 年度	2010 年度	実施フェーズ(2011~2025)
長期ビジョン (CARATS)	策定		
ロードマップ		作成	―― 適宜修正 ――▶
短期的な施策			実施▶
長期的な施策			調査・研究・開発▶ 実施▶

### 2. 関係者の役割分担と連携

将来の航空交通システムを構築するに当たっては、航空局だけではなく、関係省庁、運航者、航空関連メーカー、研究機関等の各関係者が協調的にそれぞれの役割を果たしていくことが必要である。それぞれの施策の実施にあたっての各主体が果たすべき役割については、ロードマップの中で明確にする必要があるが、CARATS において、各関係者に期待される基本的な役割は以下のとおりである。

#### 【航空局、関係省庁(官)】

航空局は、関係者との議論を踏まえ将来の方向性を示すとともに、航空保安シス

テムのインフラ整備を計画的に行う。また、産業界と一体となって、新たな運用方式・技術に関する国際基準の策定を積極的に働きかけていくとともに、研究開発の促進のため航空局の有するデータの提供等を行う。更には、アジア太平洋地域を中心とした諸外国への技術支援等を通じ、同地域における将来の航空交通システムの構築に貢献する。航空局および関係省庁は、互いに連携強化を図りロードマップを効率的に推進する。

#### 【大学、研究機関(学)】

大学は、幅広く基礎技術の研究を進めるとともに、研究機関では、管制機関や運航者のニーズを踏まえた研究・開発を進める。また、新技術の導入時における評価等にあたっては、航空局等に対し技術協力を行う。

#### 【運航者、航空関連メーカー等(産)】

運航者は、機上設備の装備について、費用対効果を検証しつつ計画的に進め、地上の航空保安システムの整備と整合を図り、将来の航空交通システムの構築に資することとする。

航空関連メーカー等は、全体計画や運航者・管制官等の運用上のニーズを勘案し、新たな候補技術や実用技術の開発・実用化を進める。また、我が国の航空関連製品の積極的な海外への展開を図り、世界の航空交通システムの構築に資することとする。

### 3. 効果的・安定的な施策の推進

将来の航空交通システムの構築にあたっては、評価指標を設定し、目標の達成度を定期的に検証しながら効果的に施策を進めていくことが必要である。また、ロードマップに基づいて計画的に施策を実施することは重要であるが、一方、状況の変化等に柔軟に対応するため、必要に応じロードマップの見直しを行うことも重要である。

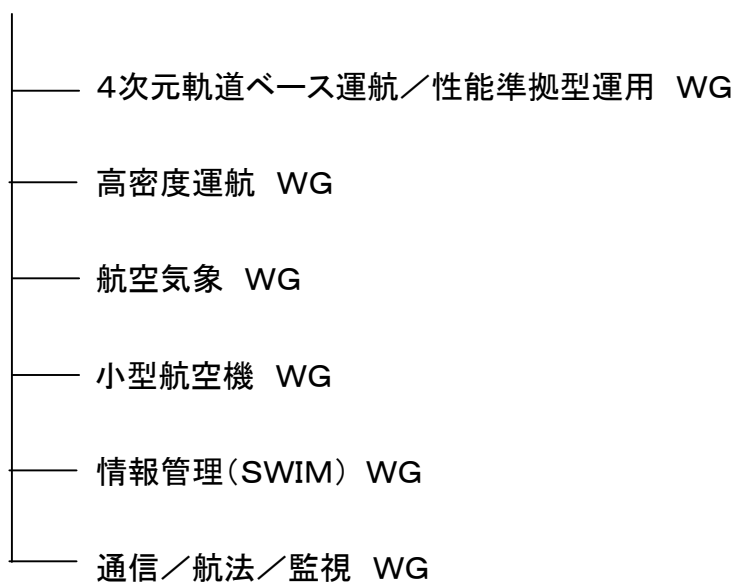
また、計画的に研究開発・整備を進めるための安定的な財源の確保のあり方についても検討する必要がある。更に、限られたリソースの中で効率的に整備を行っていくため、各施策の事業着手にあたっては新システムの有効性や既存システムの縮退等を踏まえた費用対効果分析を的確に実施する必要がある。

更に、CARATSを実現するための施策を着実に推進するため、欧米の取組みを参考に、CARATSの円滑な移行のための促進策や関係省庁・産学官が一丸となった体制の構築について、検討を行う必要がある。

## 体制図(案)

CARATS推進協議会

## CARATS調整会議

◆CARATS推進協議会

CARATSのロードマップの作成及びCARATSの実現を推進するための産学官連携による協議会。有識者、運航者、研究機関、メーカー、関係省庁、航空局等から構成。部課室長級。

◆CARATS 調整会議

指標の分析などのCARATSのフォローアップ、WG間の調整、CARATS推進協議会の事前調整、研究課題の整理等を行う。実務者レベル。

◆ワーキンググループ (WG)

各領域におけるより具体的な検討及びロードマップ(案)の作成を行うための産学官連携によるワーキンググループ。運航者、研究機関、メーカー、関係省庁、航空局等から構成。実務者レベル。